

地方議会活性化 シンポジウム 2025

誰もが参画できる議会を目指して
～これからの議会の姿とは～

会場への交通アクセス



ホールの最寄駅からのご案内

- 東京メトロ 東西線・日比谷線 「茅場町」駅 直結
- JR 線・東京メトロ 丸ノ内線 「東京」駅 八重洲北口 徒歩 1 2 分
- 東京メトロ 銀座線・東西線・都営浅草線 「日本橋」駅 D2 出口 徒歩 2 分

参加申込

一般参加につきましては、オンライン参加のみ受け付けております。
オンライン参加は、事前申込制とさせていただきます。
参加をご希望される方は、総務省ウェブサイトより参加申込フォームに
アクセスし、必要事項をご入力ください。



(総務省 HP) https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/bunken/chihogikai_2025.html

ご視聴にあたって

- ・参加申込後、ご入力いただいたメールアドレス宛に、本シンポジウムの運営業務受託事業者（株式会社ウルフスタイル）よりライブ配信 URL を送付いたしますので、当日は当該 URL をクリックし、ご視聴ください。
- ・ご視聴環境は、視聴者の皆様においてご準備いただくようお願いいたします。

シンポジウムのお問い合わせ先

総務省自治行政局行政課

〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2 TEL：03-5253-5510



石川県議会

開催日

令和 7 年 11 月 13 日 (木)
14:00 ～ 16:00

会場

KABUTO ONE HALL &
CONFERENCE
(東京都中央区日本橋兜町 7-1)
+ オンライン配信

主催：総務省 共催：全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会

地方議会活性化シンポジウム 2025 のご案内

開催趣旨

総務省では、社会の変化を踏まえたテーマ設定のもと、各議会における取組事例の紹介や地方議会の将来像について議論等を行う「地方議会活性化シンポジウム」を平成25年度から毎年開催しています。

急激な人口減少と少子高齢化に直面し、地域の担い手を含めた資源の不足や偏在が深刻化しています。そのような中で、資源制約を乗り越え、持続可能で個性豊かな地域社会を形成していくためには、多様な民意を集約し、広い見地から議論を行う議会の役割が重要となります。

今年度の本シンポジウムでは、地方議会議員のなり手不足が深刻化する中で、多様な人材が参画し住民に開かれた議会を実現するために、女性をはじめこれまで必ずしも参画しやすい状況になかった層の参画を促進する取組や住民が議会に関心を持つようにするための取組を更に進める必要があることから、これらを題材にパネルディスカッションを開催します。

プログラム

14:00 ～	開会・総務省挨拶		
	コーディネーター挨拶	駒澤大学名誉教授	大山 礼子 氏
14:10 ～	事例紹介	① 前・長野県宮田村議会議員 ② 奥州市議会議員 ③ 石川県議会議員	天野 早人 氏 菅原 由和 氏 安居 知世 氏
14:50 ～	パネルディスカッション		
	コーディネーター	駒澤大学名誉教授	大山 礼子 氏
	パネリスト	明治大学専門職大学院 ガバナンス研究科専任教授 関西学院大学経済学部教授	出雲 明子 氏 上村 敏之 氏
	上記事例紹介者も引き続きパネリストとして参加		
16:00	閉 会		

事例紹介・パネルディスカッション

テーマ

誰もが参画できる議会を目指して
～これからの議会の姿とは～



コーディネーター おおやま れいこ
大山 礼子 氏 駒澤大学名誉教授

国立国会図書館勤務、聖学院大学助教授、同教授を経て、2003年より2024年まで駒澤大学教授。第32-33次地方制度調査会副会長。著書に『日本の国会』（岩波新書、2011年）、『政治を再建するいくつかの方法』（日本経済新聞社、2018年）など。



事例紹介①・パネリスト
あまの はやと
天野 早人 氏
前・長野県宮田村議会議員

1978年宮田村生まれ。明治大学大学院修了（公共政策学修士）。2008年に宮田村議会議員初当選。2019年から議長、2022年から伊南行政組合議会議員、2023年から長野県町村議会議長会監事等を経験。「議会は村民と共にある」を掲げ、宮田村むらづくり基本条例に基づく持続的な議会改革の推進に努めた。2025年1月に議員辞職し、宮田村長に就任。



事例紹介②・パネリスト
すがわら よしかず
菅原 由和 氏
奥州市議会議員

2010年3月奥州市議会議員に初当選し、現在4期目。東日本大震災調査特別委員会副委員長、議会広報編集委員会委員長、総務常任委員会委員長、議会運営委員会委員長を歴任。2022年3月から議長に就任し、「議長マニフェスト」を掲げ、議員・議会事務局職員とともに「チーム奥州市議会」として、住民福祉の向上と市民に信頼され存在感のある議会を目指し活動している。



事例紹介③・パネリスト
やすい ともよ
安居 知世 氏
石川県議会議員

日本航空に入社し国際線客室乗務員として勤務。仕事と子育ての両立を目指し金沢市議会議員に立候補。市議を2期務めた後、2011年、石川県議会議員に初当選し、現在4期目。石川県議会では、副議長や常任委員会委員長等を歴任し、今年3月、女性議員として初めて議長に就任。全国都道府県議会議長会に新たに設置された男女共同参画委員会の委員長を務める。



パネリスト
いずも あきこ
出雲 明子 氏
明治大学専門職大学院
ガバナンス研究科専任教授

2008年国際基督教大学行政学研究科博士課程修了、博士（学術）。同年東海大学政治経済学部政治学科専任講師、2011年同准教授、2021年から現職。総務省「持続可能な地方行財政のあり方に関する研究会」委員等を務める。著書に『はじめての行政学』（共著）、『政治主導と公務員制度改革』ほか。



パネリスト
うえむら としゆき
上村 敏之 氏
関西学院大学経済学部教授

1972年神戸市生まれ。関西学院大学大学院経済学研究科博士課程修了、博士（経済学）。東洋大学経済学部准教授を経て現職。専門は財政学。総務省「持続可能な地方行財政のあり方に関する研究会」委員、兵庫県「地域創生戦略会議」座長、川西市（兵庫県）「行財政改革審議会」会長、田原本町（奈良県）特別顧問等を務める。